

ナンバリング EU41D203	授業科目名(科目の英文名) 学校経営プロジェクト (Field Study of School Management)						区分・【新主題】/ (分野) 実習科目				授業形式									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員 氏名 清國祐二、熊丸真太郎、大島崇、山本遼、渡邊英樹、安田憲司、久保隆 E-mail kumamaru@oita-u.ac.jp 内線 7550														
授業概要	実習校(現任校)での観察・体験等とその省察を通じて、実習校(現任校)の学校経営上の課題を明らかにし、課題解決に向けた具体的な方策(学校改善企画書)を構想する。観察・体験における研究枠組みの設定および実習の成果・課題の明確化などを目的とする省察科目「学校経営課題研究」との有機的な連関を図りながら学修を進めていく。その際、必要に応じて、他科目の学修内容を関連づけたり、新たな情報収集を行ったりするなど、理論と実践の往還が図られるよう配慮する。																			
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	スクールリーダーの立場として学校改善の方策を立案できる。																			
目標2	立案した学校改善の方策を適切に実施できる。																			
目標3	学校改善の方策の成果や課題を適切に評価できる。																			
目標4	必要に応じて、学校改善の方策を適宜改善することができる。																			
目標5	スクールリーダーに求められる資質・能力について、自らの実践に基づき自己評価できる。																			
目標6																				
目標7																				
目標8																				
目標9																				
目標10																				
授業の内容																				
1	事前指導：「学校経営プロジェクト」での学修を踏まえて「学校改善企画書」を作成し、実習に向けて課題意識の明確化を図る。																			
2	実習校(現任校)での実習(200時間)																			
3	・現任校の管理職の指導の下、スクールリーダーの職務を観察したり、実際に職務を遂行したりすることで、スクールリーダーの職務や経営行動について理解する。																			
4	・スクールリーダーの立場に立って、自らが立案した学校改善の方策を実施する。																			
5	・学校改善の方策の成果や課題を評価し、必要に応じて、適宜改善する。																			
6	事後指導：実習、学校改善の方策の実施・評価・改善の状況について省察し、自己評価を行う。研究成果として「教育実践研究報告書」を作成し、発表する。																			
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
ラ ア	A:知識の定着・確認	現任校での学校実習	工	そ	夫	の	他	の												
イ ク	B:意見の表現・交換																			
ニ テ	C:応用志向																			
ン イ	D:知識の活用・創造																			
時間外学修の内容と時間の目安	準備	年間を通じた学校実習のため、特になし																		
時間外学修	事後	実習日誌の作成(25時間), 発表会資料作成(15時間)																		
教科書	大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻『教職大学院 実習の手引』ISBNなし																			
参考書	必要な資料等は大学より配付する。																			
成績評価の方法及び評価割合	評価方法 学校改善の方策についての実施・評価・改善の内容 実習日誌や観察記録等による総合的評価						割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
							70%													
							30%													
注意事項																				
備考																				
リンク	URL																			

担当教員の実務経験の有無	
教員の実務経験	清國祐二（高等学校）／渡邊英樹（小・中学校、教育委員会事務局）／安田憲司（教育委員会事務局）／久保隆（中・義務教育学校）
実務経験をいかした教育内容	教諭（清國）、校長及び教育事務所長（渡邊）、教育事務所長（安田）、校長（久保）としての学校現場や教育行政現場での実務経験をもとに、学校経営全般に係る指導を行う